

以前知り合ったNちゃんの話^{はなし}を少し…

中学1年生のNちゃんは、体^{からだ}に麻痺^{まひ}があり手^てや足^{あし}など体^{からだ}を自由^{じゆう}に動か^{うご}かすことができないので車^{くるま}いすで登校^{とうこう}していました。私は、Nちゃんが中学校^{ちゅうがっこう}でみんなと一緒に^{いっしょ}過ごすためのお手伝い^{おてつだ}をしていました。

一緒に授業^{じゅぎょう}へ行^いったり、給食^{きゅうしょく}を食べ^たるのを手伝^{てつだ}ったり、一緒に歩行器^{ほこうき}を使^{つか}って運動^{うんどう}したり…です。

言葉を話^{かた}す事もできないNちゃんは、毎朝^{まいあさ}登校^{とうこう}してくると車椅子^{くるまいす}が倒^{たお}れてしまうんじゃないかと思うほど体^{からだ}を揺^ゆらします。それは、Nちゃんからの『おはよう!』でした。お昼^{ひる}はお楽しみ^{たのしみ}の給食^{きゅうしょく}。専用のフォーク^{せんようのしかん}を使^{つか}って食べ^たますが、麻痺^{まひ}のあるNちゃんにとっては、そのフォーク^{しかん}を持^もつのはとても時間^{じかん}がかかるし、すごく体力^{たいりき}を使^{つか}います。でも、Nちゃんは、時間^{じかん}がかかってもフォーク^{しかん}を持^もち、おかずをツンツン^しします。それは『これ食べたい!』です。時々^{ときどき}、フォーク^{しかん}を持^もとうとしてくれない時^{とき}がありました。「食べたくない?」と思^{おも}いましたが、それはその時^{とき}体調^{たいちよう}が悪^{わる}く『食べられない』と言^いっていたのでした。他にも、Nちゃんが歩行器^{ほこうき}をじーっと見^みつめている時^{とき}、それは『歩きたい!』でした。

やりたい事^{こと}やして欲しい事^{こと}…そして体調^{たいちよう}の変化^{へんか}など、いろんな事^{こと}を『伝える』というのは、たくさんの人^{ひと}たちが生^いきているこの社会^{しゃかい}の中^{なか}ではあたり前^{あたりまえ}に必要^{ひつよう}で重要^{じゅうよう}な事^{こと}です。

私は日常^{にちじょう}、伝えたい事^{こと}があるときは『言葉』や文字^{もじ}を使^{つか}って伝^{つた}えています。Nちゃんにとって『伝える』という事^{こと}は簡単^{かんたん}な事^{こと}ではありません。『おはよう!』も『しんどい…』も、Nちゃんは言葉^{ことば}を使^{つか}えないけれど、持^もっている力^{ちから}を精一杯^{せいいつぱい}使^{つか}って伝えようとしてくれています。それは小さな小さな表現^{ちいひょうげん}かもしれないけれど、Nちゃんにとっての大切^{たいせつ}な『言葉』だと私は感^{かん}じました。私はNちゃんの大切^{たいせつ}な『言葉』を知^しって、自分の使^{つか}っている言葉^{ことば}は思^{おも}いを伝える為^{ため}の全力^{ぜんりき}の言葉^{ことば}か?軽々^{かるがる}しく使^{つか}ってしまっていないか?と考^{かんが}えるようになりました。そんな時^{とき}『一つの言葉』の詩^しを目^めにしました。

“一つの言葉はそれぞれに 一つの心をもっている”

この詩^しを読んで、思^{おも}いのこもった『言葉』も、何気^{なにげ}なく軽々^{かるがる}しく使^{つか}った言葉^{ことば}も、発せ^{はつ}られた言葉^{ことば}は、発せ^{はつ}られたその時^{とき}点^{てん}で『一つの心』^{こころ}を持^もつんだ…と思^{おも}いました。

私はNちゃんの大切^{たいせつ}な『言葉』を知^しり、言葉^{ことば}には一つ一つ心^{こころ}があるんだと気づ^きき、普段^{ふだん}使^{つか}えている言葉^{ことば}の重^{おも}みを感じ^{かん}じました。

そして、自分の一つ一つの心^{こころ}を持^もった言葉^{ことば}を大切^{たいせつ}に使^{つか}っていこう…。

どんな一つ一つの言葉^{ことば}であっても、その言葉^{ことば}の心^{こころ}を大切^{たいせつ}に…受^うけ止^とめていこうと思^{おも}いました。

みんなも、みんなが使^{つか}う一つ一つの心^{こころ}を持^もつ、一つ一つの言葉^{ことば}を大切^{たいせつ}に使^{つか}ってほしいな…と思^{おも}います。

